

どこでも写真管理 Plus⁺

Android版・iOS版 共通 どこでも写真管理 Plus 出来形計測 操作手順書 CIMPTHONY Plus 使用

EX-TREND武蔵の出来形管理、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、計測値を入力しながら出来形写真を撮影する操作を説明します。

- ※Android画面で解説しています。
iOSでも同様に操作できます。
- ※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。
ご了承ください。
- ※黒板作成・連携ツールのライセンスが必要です。
- ※CIMPTHONY Plus連携ツールは2023/5/29版で解説しています。
最新版への更新はFCアカウントの [プログラムの更新] から行ってください。

注意 使用時の注意点

下記を超えると、端末のメモリー等の仕様にもよりますが動作が不安定となる可能性がありますので、それ以下で運用することをお奨めします。

- ・黒板総数：200枚以下
- ・撮影済み写真は200枚程度を最大として、随時PCへ保存

目次

Android版・iOS版 共通 どこでも写真管理Plus 出来形計測 操作手順書 CIMPHONY Plus使用

1. どこでも写真管理Plusについて _____	1
どこでも写真管理Plusの概要 _____	1
出来形・写真データを転送する方法 _____	2
2. 出来形管理で工種分類を作成する _____	3
工種分類を作成する _____	3
3. 工種分類データをどこでも写真管理Plusに転送する _	6
工事データを作成する _____	6
工種分類データを転送する _____	7
4. どこでも写真管理Plusで出来形データを入力する __	12
CIMPHONY Plusと連携する _____	12
工種分類データを取り込む _____	14
実測値を入力する _____	18
出来形写真を撮影する _____	19
5. 出来形データを出来形管理に取り込む _____	23
出来形データを出力する _____	23
出来形データを取り込む _____	25
6. 出来形写真を写真管理に取り込む _____	29
写真を出力する _____	29
写真を取り込む _____	31

1

どこでも写真管理 Plus について

どこでも写真管理Plusについて解説します。

どこでも写真管理Plusの概要

EX-TREND武蔵 出来形管理、スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

どこでも写真管理Plusとは、電子小黑板機能付き工事写真撮影アプリです。

また、出来形計測値を直接入力することもできます。

※クラウド連携を使用する場合は「CIMPHONY Plus」または「RICOH Drive」の契約が必要です。



写真管理・出来形管理

EX-TREND武蔵 出来形管理で作成した工種分類データ（測定項目・測点・設計値・規格値）をスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に取り込み、実測値を入力しながら出来形写真を撮影します。

実測値、撮影した出来形写真をEX-TREND武蔵 出来形管理、写真管理に送信します。

スマホアプリ 「どこでも写真管理 Plus」

出来形・写真データを転送する方法

PCとスマートフォンで出来形や写真データを転送する方法は4通りあります。

- ・USBで接続する（Android版のみ）
- ・CIMPHONY Plusを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・RICOH Driveを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・iTunesを使用する（iOS版のみ）

インターネットを経由する（CIMPHONY Plusを使用する、RICOH Driveを使用する）と、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でも出来形や写真データを転送できます。



2

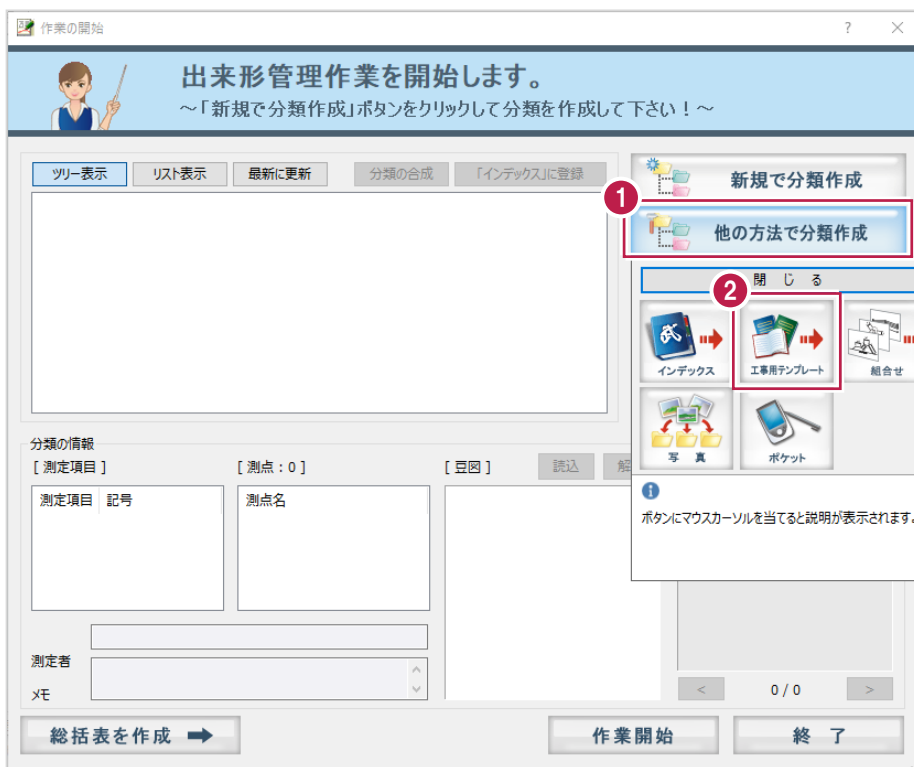
出来形管理で工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 出来形管理で工種分類を作成します。

工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 出来形管理で工種分類を作成して、測定項目・測点・設計値・規格値を設定します。
ここでは、工事テンプレートから分類を読み込みます。

1. 出来形管理の作業の開始ダイアログで [他の方法で分類作成] をクリックします。
2. [工事用テンプレート] をクリックします。

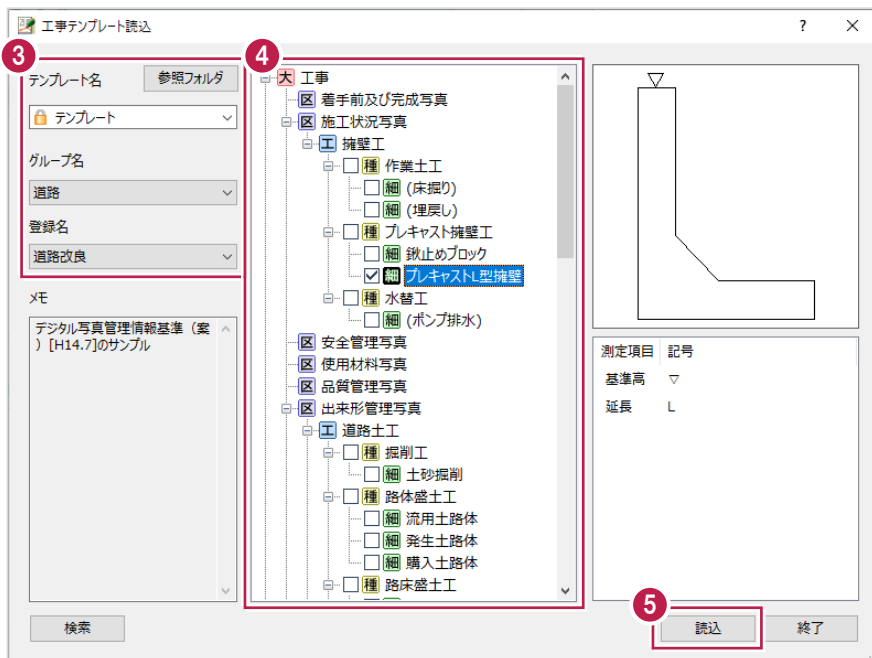


3. [テンプレート名] [グループ名] [登録名] を選択します。

4. 読み込む分類をオンにします。

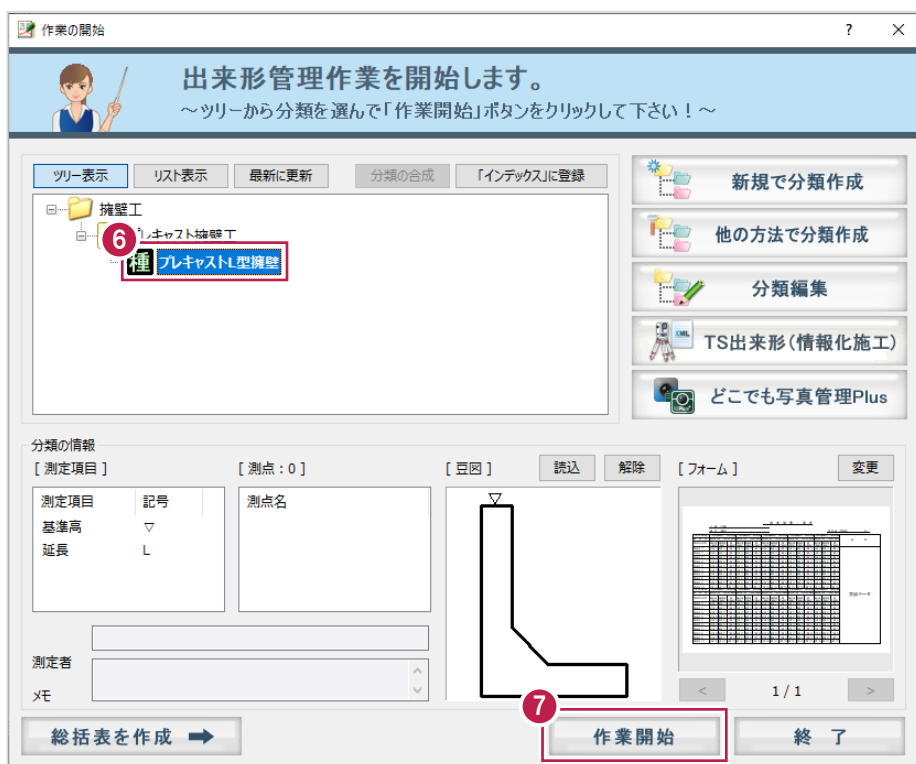
5. [読込] をクリックします。

分類が読み込まれます。



6. 分類を選択します。

7. [作業開始] をクリックします。



8. データ入力画面で測定項目・測点・設計値・規格値を設定します。

No.	測定名	設計値	実測値1	差1	規格値下限	規格値上限	測定	差1
1	No.0	120.000			-50	50		
2	No.1	120.000			-50	50		
3	No.2	120.000			-50	50		
4	No.3	120.000			-50	50		
5	No.4	120.000			-50	50		
6	No.5	120.000			-50	50		
7	No.6	120.000			-50	50		
8	No.7	120.000			-50	50		
9	No.8	120.000			-50	50		
10	No.9	120.000			-50	50		

補足

測定項目・規格値の設定

測定項目と規格値は「条件設定」で設定します。

選択	設計値の範囲	規格値	基準値	社内規格値										
1	下限	上限	タイプ	下限	上限	式/仮想値	タイプ	下限	上限	式設定	タイプ	下限	上限	式設定
2														
3														
4														

3

工種分類データをどこでも写真管理 Plus に転送する

工種分類データをスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に転送します。

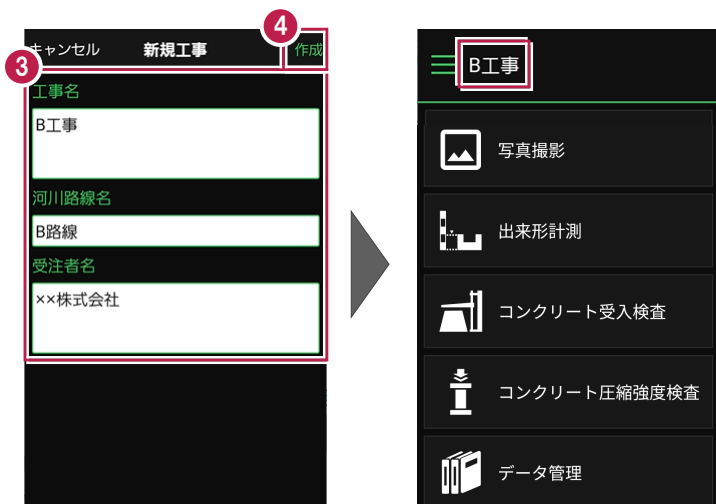
工事データを作成する

スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」で工種分類データの転送先となる工事データを作成します。

1. スマートフォンで「どこでも写真管理Plus」を起動し、メインメニュー画面のメニューボタンをタップします。
2. 「工事の新規作成」をタップします。



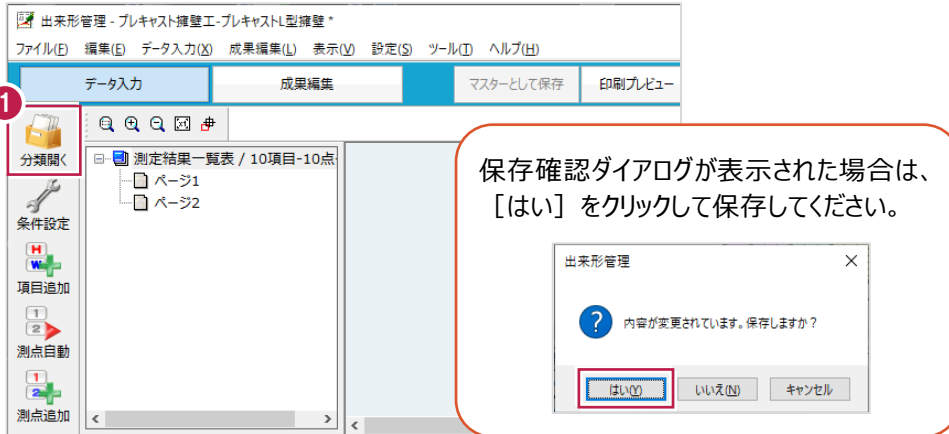
3. 「工事名」 「河川路線名」 「受注者名」を入力します。
4. 「作成」をタップします。
作成した工事が表示されます。



工種分類データを転送する

CIMPHONY Plusを使用して、工種分類データをインターネット経由でどこでも写真管理Plusに転送します。
CIMPHONY Plusであらかじめ現場を作成して操作してください。

1. 出来形管理で「分類開く」をクリックします。



2. 「どこでも写真管理Plus」をクリックします。
3. 「データ転送」(左側)をクリックします。
※データを転送するには、「黑板作成・連携ツール」がインストールされている必要があります。



4. 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択します。

5. [OK] をクリックします。



6. 転送する工種分類をオンにします。

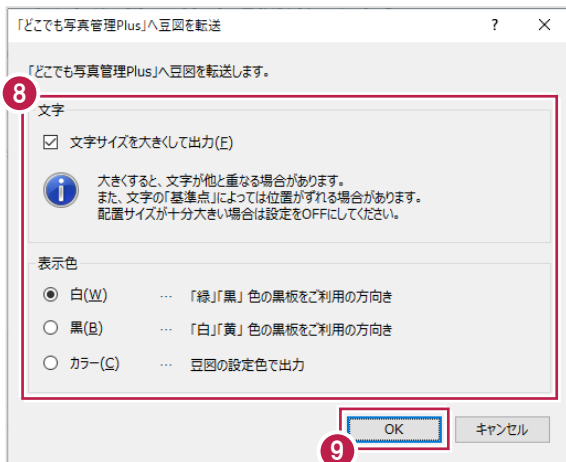
7. [OK] をクリックします。



8. 豆図の文字、表示色を設定します。

9. [OK] をクリックします。

CIMPHONY Plus連携ツールが起動します。



10. 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FCアカウント」でログインします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。



11. 現場を選択します。

12. [現場を選択] をクリックします。

※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。

11

12

CIMPHONY Plusで作成した現場が表示されます。現場が表示されない場合は、CIMPHONY Plusで現場を作成後に操作してください。

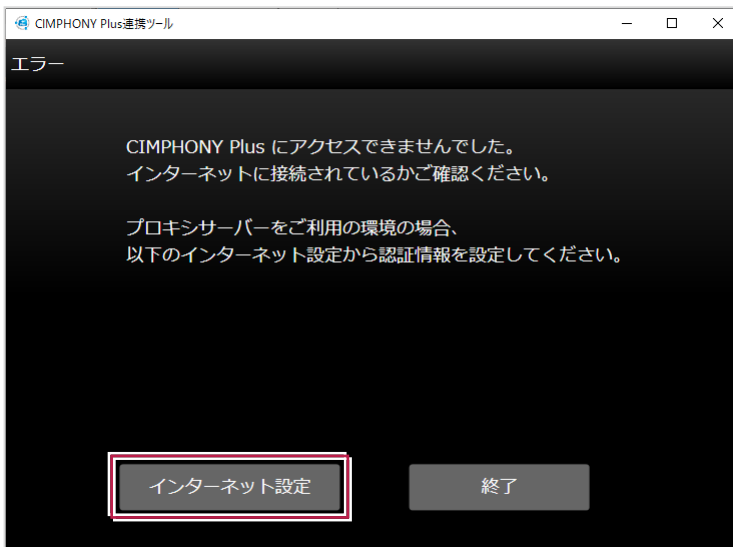
13. [終了] をクリックします。

データが転送されます。

13

プロキシサーバー環境の場合

プロキシサーバー環境の場合は、インターネット設定で認証情報を設定してください。



[サーバーを手動で設定する] を選択した場合は、認証情報を入力してください。

4

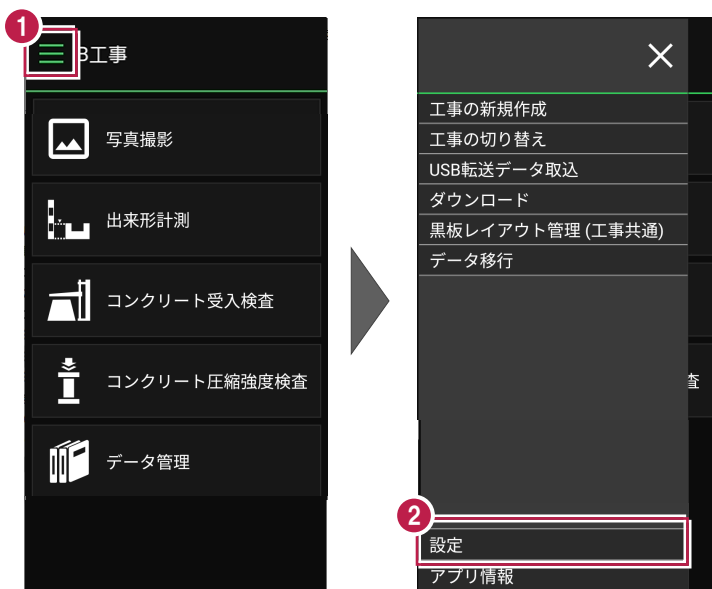
どこでも写真管理 Plus で出来形データを入力する

出来形管理から転送した工種分類を使用して、どこでも写真管理Plusで出来形データを入力します。

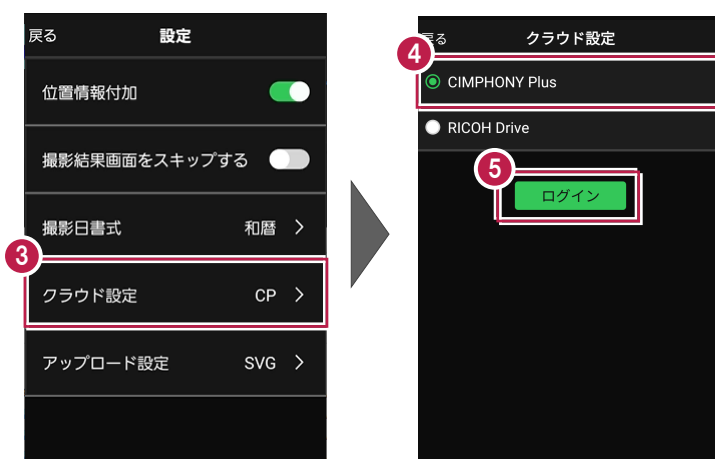
CIMPHONY Plusと連携する

どこでも写真管理PlusでCIMPHONY Plusにログインして、連携する現場を設定します。

1. どこでも写真管理Plusで作成した工事のメインメニュー画面を開き、メニューボタンをタップします。
2. [設定] をタップします。



3. [クラウド設定] をタップします。
4. [CIMPHONY Plus] を選択します。
5. [ログイン] をタップします。



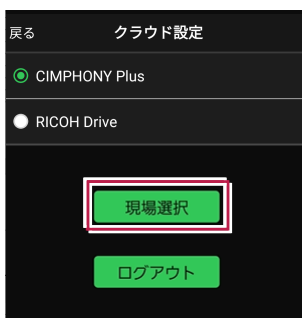
6. 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FCアカウント」で [ログイン] します。
7. 現場を選択します。
8. [現場選択] をタップします。
9. [ホーム] をタップして、メインメニュー画面に戻ります。



補足

他の現場を選択する

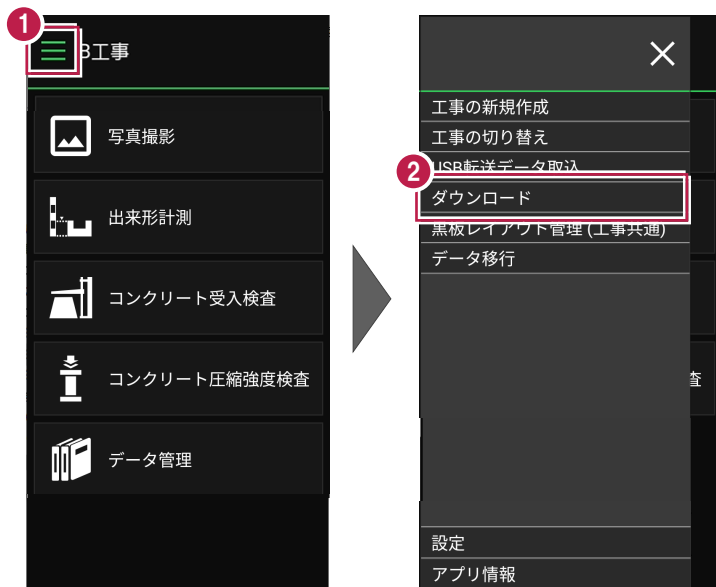
他の現場を選択する場合は、[クラウド設定] で [現場選択] をタップして現場を選択してください。



工種分類データを取り込む

出来形管理から転送した工種分類データを取り込みます。

1. メニューボタンをタップします。
2. [ダウンロード] をタップします。



3. 取り込むデータを選択します。
4. [実行] をタップします。

The image shows a screenshot of the 'ダウンロード' (Download) screen. At the top left is '戻る' (Back) and at the top right is '実行' (Execute), both circled in red and labeled with a '4'. Below the title bar are two checkboxes: '全選択' (All selected) and '取り込み済みを除く' (Exclude imported data), both circled in red and labeled with a '3'. The main list contains several items: '黒板', '黒板 (アプリから現場共有)', '分類', '豆図', '出来形', '20231116143208 B工事' (with a checkmark), and 'コンクリート品質'. Two callout boxes are present: one on the right explains the '全選択' and '取り込み済みを除く' options, and one at the bottom explains that data from the 'EX-TREND 武蔵' folder of a connected CIMPHONY Plus site will be displayed.

[全選択] : オンにすると全て選択します。
オフにすると全て選択解除します。

[取り込み済みを除く] : 取り込み済みのデータをダウンロードしない場合はオンにします。

連携したCIMPHONY Plus現場の
[EX-TREND武蔵] フォルダーに
登録されているデータが表示されます。

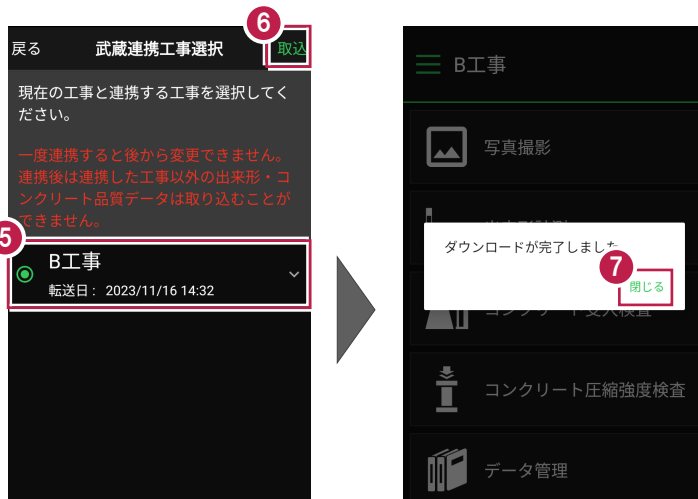
5. データの取り込み元工事を選択します。(初回のみ)

※取り込み元工事を選択し直すことはできないため、慎重に操作してください。

6. [取込] をタップします。

7. [閉じる] をタップします。

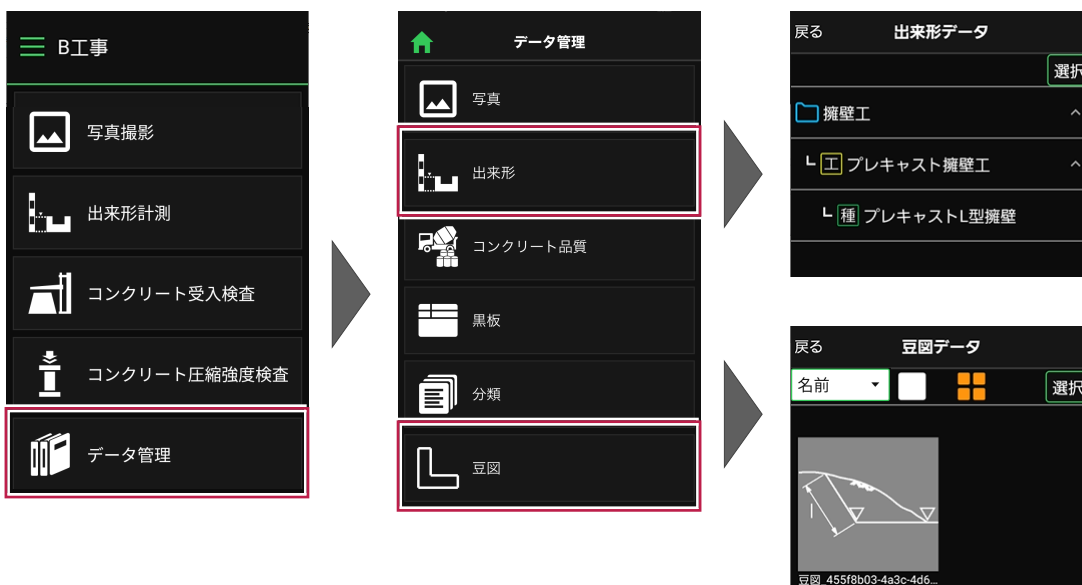
データが取り込まれます。



補足

取り込んだ工種分類・豆図データを確認する

取り込んだ工種分類・豆図データは [データ管理] の [出来形] [豆図] で確認・削除できます。



黒板レイアウトを取り込む

黒板作成・連携ツールの「黒板レイアウト作成ツール」で作成した黒板レイアウトを取り込みます。

※RICOH Drive経由では取り込みません。

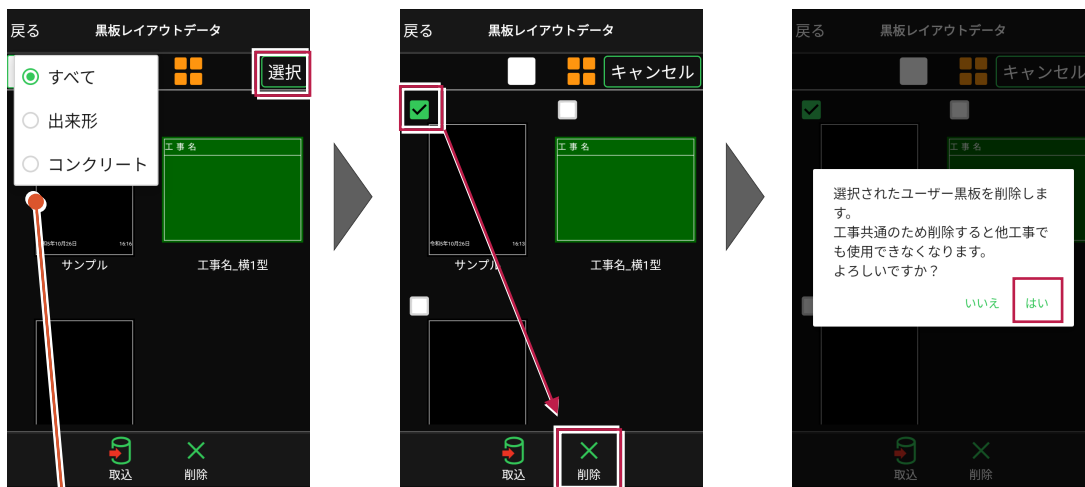


補足+

黒板レイアウトを削除する

黒板レイアウトデータの「選択」で黒板を選択し、不要な黒板レイアウトを削除できます。

※取り込んだ黒板レイアウトは、どこでも写真管理Plus内の他工事でも共通して使用できるため、削除すると、他工事で使用できなくなります。



すべて・出来形・コンクリートで表示の絞り込みができます。

補足+

「黒板」と「黒板レイアウト」の違い

●黒板

- ・「レイアウト+データ」
- ・写真管理から連動させた分類情報や、撮影箇所、施工管理値など「情報を持った黒板レイアウト」を指します。
- ・EX-TREND武蔵 写真管理と連携します。
- ・メニューボタンの「USBデータ取込」「iTunes転送データ取込」「ダウンロード」で取り込めます。

工事名A工事		
工種	道路土工	サンプル
撮影月日	令和5年10月26日	
位置	A地点	
設計寸法	高さ(△)=120m	
実測寸法	高さ(△)=119.8m	
立会者	福井 太郎	受注 二郎

●黒板レイアウト

- ・「レイアウトのみ」
- ・「情報を持たない黒板」を指します。
- ・EX-TREND武蔵 出来形管理・コンクリート品質管理と連携します。
- ・メニューボタンの「黒板レイアウト管理（工事共通）」でのみ取り込めます。

工事名(工事名)		
工種	(工種)	(備考)
撮影月日	(撮影日)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">情報が 入っていません</div> (豆図)
位置	(撮影箇所)	
設計寸法	(施工管理値_設計1)	
実測寸法	(施工管理値_実測1)	
立会者	(テキスト01)	
		(撮影時間)
(受注者名)		

実測値を入力する

実測値を入力します。

1. メインメニュー画面で「出来形計測」をタップします。
2. ツリーを展開して、種別をタップします。



3. 測定データをタップします。
4. 実測値を入力します。
5. 「OK」をタップして、計測画面に戻ります。

(計測画面、計測値入力画面の詳細はヘルプを参照してください。)



出来形写真を撮影する

出来形写真を撮影します。

1. 写真を撮影する測点のカメラボタンをタップします。

写真撮影画面が表示されます。



写真撮影画面を起動した際に、各種動作の許可を求めるメッセージが表示されることがあります。

メッセージが表示された場合は、**[許可]** をタップしてください。

2. 黒板をタップします。



エラーがある場合に表示されます。エラーマークをタップするとエラー情報が表示され、エラー内容をタップすると写真情報を編集できます。

黒板に計測データが反映されます。[工事名] [工種] [種別] には出来形管理で設定した工事名、工種、種別が表示されます。

3. 黒板編集画面で文字属性や写真情報を設定します。

(編集方法はヘルプを参照してください。)

4. [戻る] をタップして、写真撮影画面に戻ります。



文字属性モード/写真情報モードを切り替えて、黒板を編集します。

5. 撮影ボタンをタップします。

(写真撮影画面の詳細はヘルプを参照してください。)



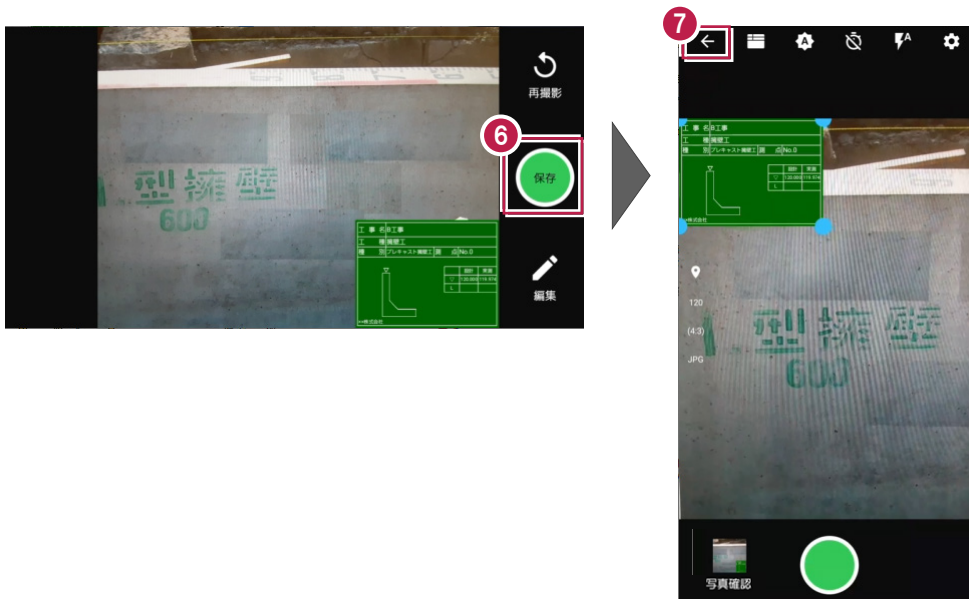
初期設定で端末を回転すると、写真撮影画面と撮影した写真も同じ向きになります。

黒板をドラッグすると、移動できます。初期設定で黒板四隅のトラッカーをドラッグすると、拡大・縮小できます。

6. [保存] をタップします。

写真が保存され、写真撮影画面に戻ります。

7. 戻るボタンをタップして、計測画面に戻ります。



8. 同様に、他の測点の実測値を入力して出来形写真を撮影します。

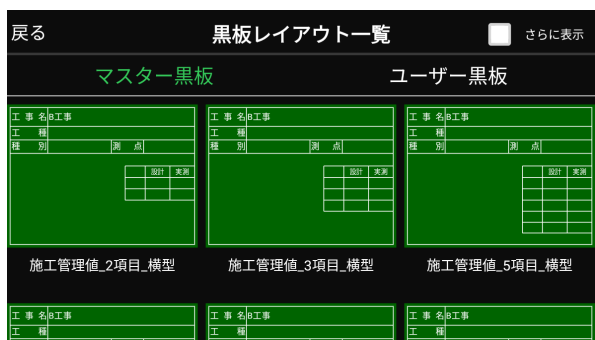
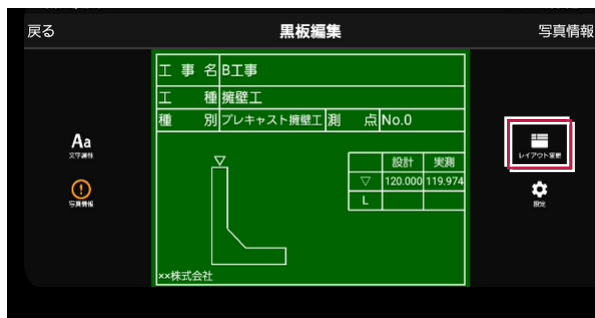
9. [戻る] をタップして、工種一覧画面に戻ります。

10. [戻る] をタップして、メインメニュー画面に戻ります。



黒板レイアウトを変更する

黒板レイアウトを変更したい場合は、黒板編集画面の「レイアウト変更」からレイアウトを選択してください。



5

出来形データを出来形管理に取り込む

EX-TREND武蔵 出来形管理に出来形データを取り込みます。

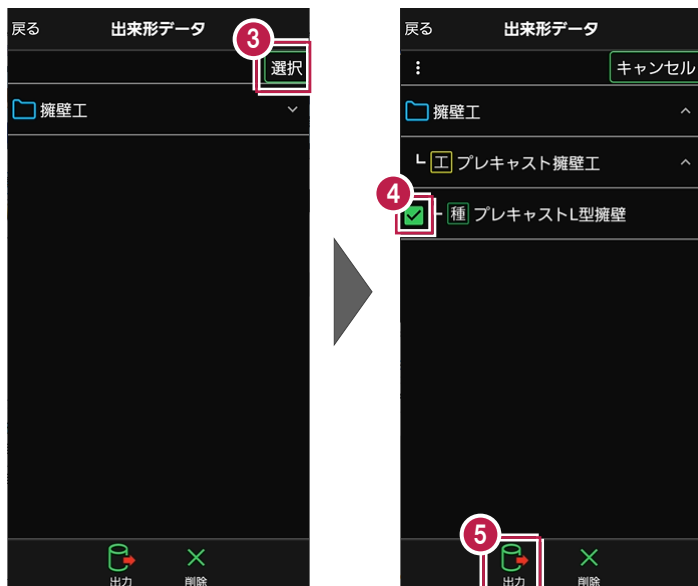
出来形データを出力する

どこでも写真管理PlusからCIMPHONY Plusに出来形データを出力します。

1. どこでも写真管理Plusのメインメニュー画面で [データ管理] をタップします。
2. [出来形] をタップします。



3. [選択] をタップします。
4. 出力する出来形データのチェックをオンにします。
5. [出力] をタップします。



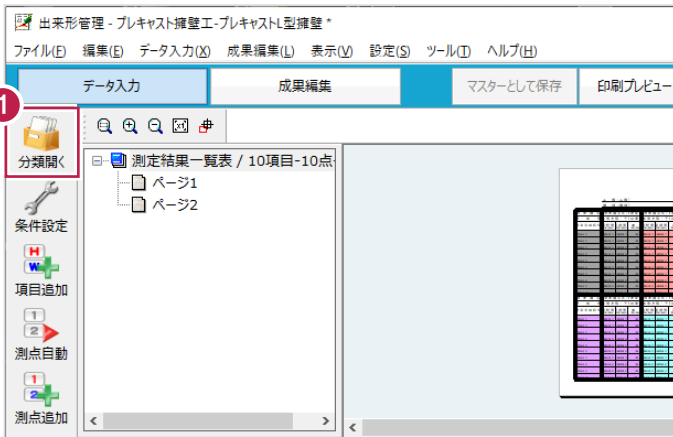
6. [CIMPHONY Plus] をタップします。
7. [閉じる] をタップします。
データが出力されます。
8. [出来形データ] をタップします。
9. [ホーム] をタップして、メインメニュー画面に戻ります。



出来形データを取り込む

EX-TREND武蔵 出来形管理に出来形データを取り込みます。

1. 出来形管理で [分類開く] をクリックします。



2. [どこでも写真管理Plus] をクリックします。

3. [データ取込] をクリックします。

※データを取り込むには、「黑板作成・連携ツール」がインストールされている必要があります。



4. 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択します。

5. [OK] をクリックします。

CIMPHONY Plus連携ツールが起動します。

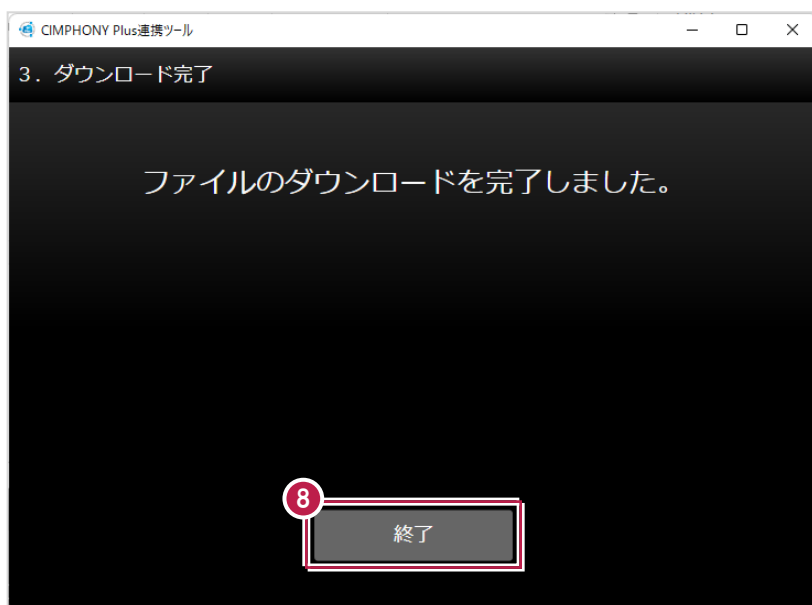


6. 現場を選択します。

7. [現場を選択] をクリックします。



8. [終了] をクリックします。



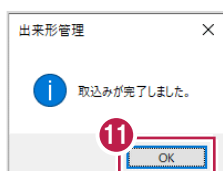
9. 取り込む工種分類をオンにします。

10. [OK] をクリックします。



11. [OK] をクリックします。

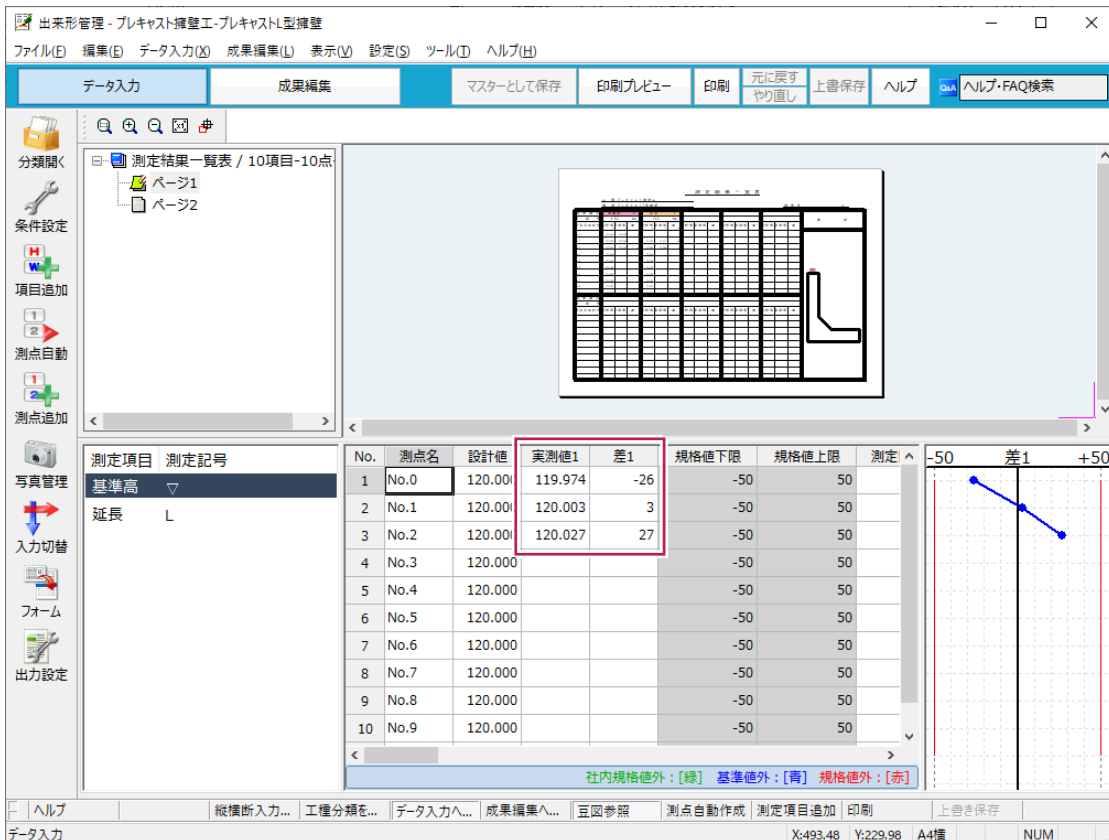
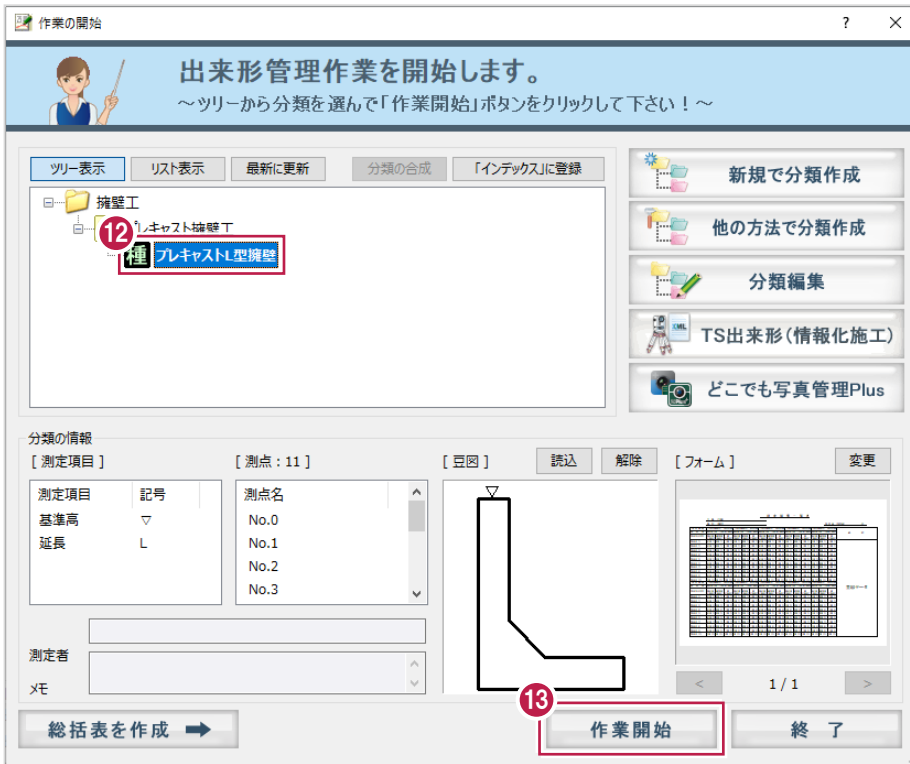
データが取り込まれます。



12. 分類を選択します。

13. [作業開始] をクリックします。

出来形データが取り込まれていることが確認できます。



6

出来形写真を写真管理に取り込む

EX-TREND武蔵 写真管理に出来形写真を取り込みます。

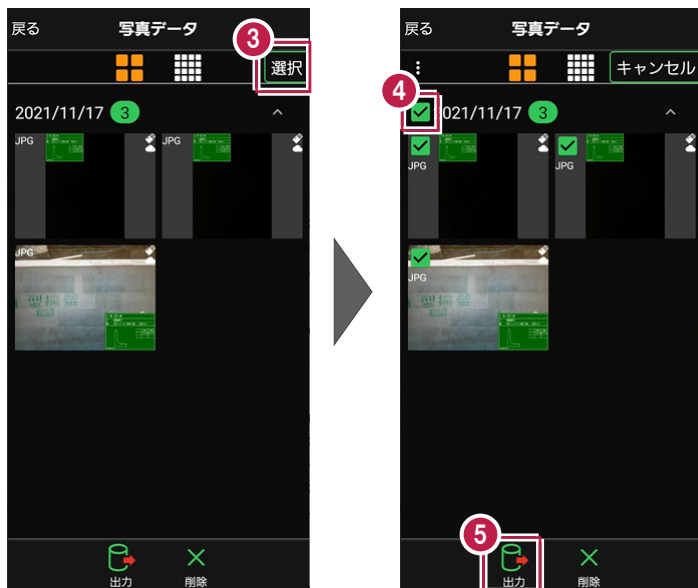
写真を出力する

どこでも写真管理PlusからCIMPHONY Plusに写真を出力します。

1. どこでも写真管理Plusのメインメニュー画面で [データ管理] をタップします。
2. [写真] をタップします。



3. [選択] をタップします。
4. 出力する写真のチェックをオンにします。
5. [出力] をタップします。



6. [閉じる] をタップします。
データが出力されます。



回線の状態により転送が失敗する場合は、写真の選択数を減らして、再度出力してください。

CIMPHONY Plusに同名のファイルが存在する場合、ファイル名末尾に連番が付記されます。

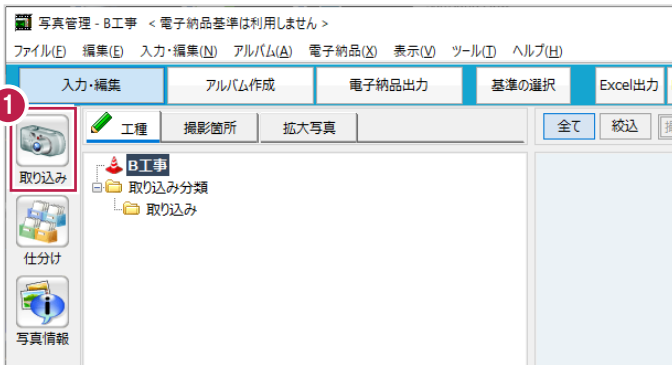
例) 「ファイル名-(1).jpg」

※自動リネームによりファイル名が100文字を超える場合はファイル登録されません。

写真を取り込む

EX-TREND武蔵 写真管理にCIMPHONY Plusから写真を取り込みます。

1. 写真管理で [取り込み] をクリックします。



2. [どこ写Plus] を選択します。

3. [OK] をクリックします。



4. 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択します。

5. [OK] をクリックします。

CIMPHONY Plus連携ツールが起動します。



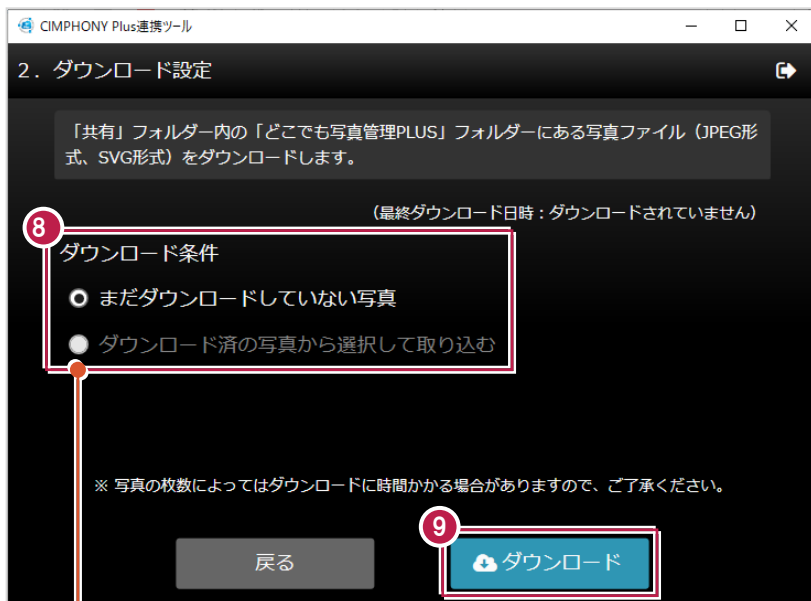
6. 現場を選択します。

7. [現場を選択] をクリックします。



8. [ダウンロード条件] を選択します。

9. [ダウンロード] をクリックします。



【まだダウンロードしていない写真】

CIMPAPHONY Plusから一度もダウンロードされたことのない写真のみ取り込みます。
(CIMPAPHONY Plusのユーザーが一度でもダウンロードした写真は「ダウンロード済み」として扱われます。)

【ダウンロード済の写真から選択して取り込む】

撮影期間を指定して過去にダウンロードした写真の中から選択して取り込みます。
誤って削除した写真を再度取り込みたい場合や、他のユーザーがダウンロード済みの写真を取り込みたい場合などに使用してください。



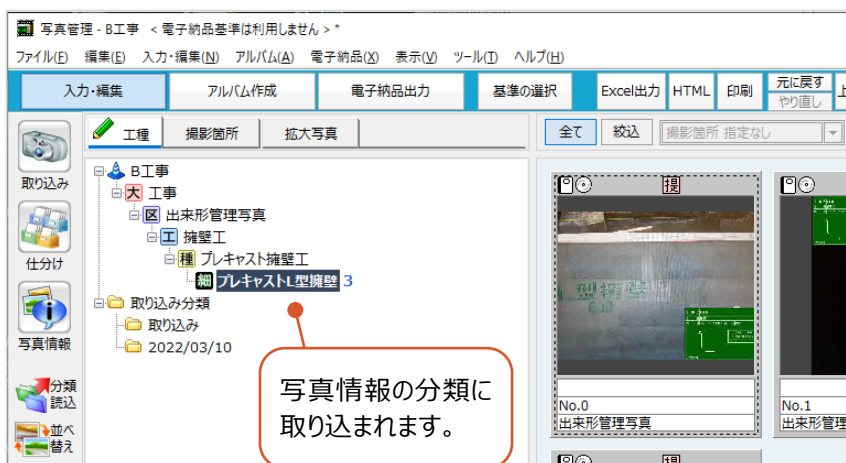
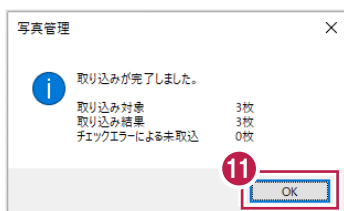
※写真の上にマウスを移動すると、ファイル情報が確認できます。

10. [終了] をクリックします。



11. [OK] をクリックします。

写真が取り込まれます。



写真管理とどこでも写真管理 Plus の工事情報が異なる場合

写真管理とどこでも写真管理Plusの工事名称や受注者名が異なる場合は、工事情報の選択ダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。

